

# 県内での活動に力を

## 片山参議員 豊橋に事務所開設など報告

自民党の片山さつき参院議員(全国比例区)が16日、東海日日新聞社を訪れて白井収本社長と懇談し、豊橋市内に事務所を開設したことや同党環境部会長としての活動などを報告した。

浜松市に静岡事務所を置き、同党愛知県連にも所属し東海地域を地盤に活動する片山氏は、2年後の参院選を見据えて豊橋市新栄町に東三河連絡所を開設し

た。7月10日には名古屋市内のホテルで「励ます会」の開催も予定しており、「衆参同日選の可能性もある。静岡と愛知を合わせて人口は1,000万人おり、きちんと活動すれば当選できる」と話し、愛知県内での活動にも力を入れていく姿勢を示した。

昨年10月に環境部

最近の活動を報告する片山さつき氏(東海日日新聞社で)

会長に就き「毎週のようにおもしろいプロジェクトが持ち込まれて、いい時に部長長になれた」と話す。

現在は、うなぎなどの資源管理や養殖

業の振興を図る内水面漁業振興法案を議員立法で国会中に成立させることに取り組んでいる。「うなぎの減少は乱獲や護岸工事が原因。国内でしっかり管理する姿勢を見せて、絶滅危惧種に登録されないようにしないといけない」と法案の重要性を訴えた。

(石川正司)

